



2024年11月25日

各位

会社名 株式会社 エプロ
代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之
(コード番号 2311 東証スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役 CFO 吉原 信一郎
(TEL. 03-6853-9165)

2024年10月度 月次業績に関するお知らせ

当社は、2024年10月度の月次業績につきまして、下記のとおりお知らせいたします。
なお、業績数値は速報値であるため、以後修正される場合があります。

記

■ 2024年10月度の月次業績（経常利益）

(単位：百万円)

	10月度			期初来累計		
	前期	今期	前年比	前期	今期	前年比
連結経常利益	25	27	108%	240	212	88%

(参考) セグメント別経常利益

成長事業	再エネサービス		6	22	347%	107	-15	-
	日本市場	TEPCO ホームテック	11	8	73%	179	45	25%
		ENE' s	11	1	13%	35	59	165%
		MEDX	-2	-1	-	-27	-21	-
	海外市場	LESSO EPCO	-13	14	-	-80	-98	-
ベース事業 (住宅BPO)	メンテナンスサービス		32	20	63%	226	275	122%
	設計サービス		30	26	87%	246	304	123%

(注1) 本資料の数値については監査法人の監査を受けておりません。

(注2) LESSO EPCOには、班皓艾博科新能源設計(深圳)有限公司及び広東聯塑艾博科住宅設備設計服務有限公司の業績数値が含まれております。

(注3) 連結経常利益数値には、セグメント別経常利益のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外損益(持分法投資損益を除く)が含まれております。

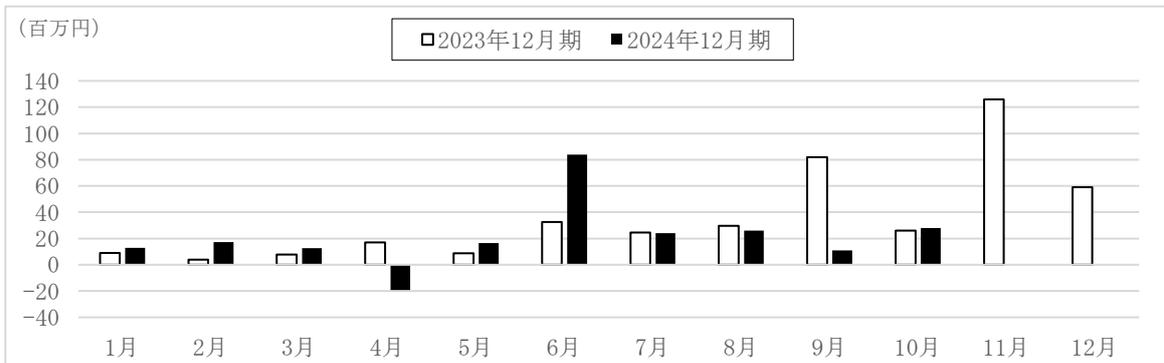
以上

■ (参考情報) 各事業の業績推移

【連結経常利益】

(単位：百万円)

	2024年12月期 (2024年1月1日～2024年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	12	17	12	-19	16	83	24	25	10	27			212
前年同月比	145%	436%	165%	-	191%	257%	98%	87%	13%	108%			88%

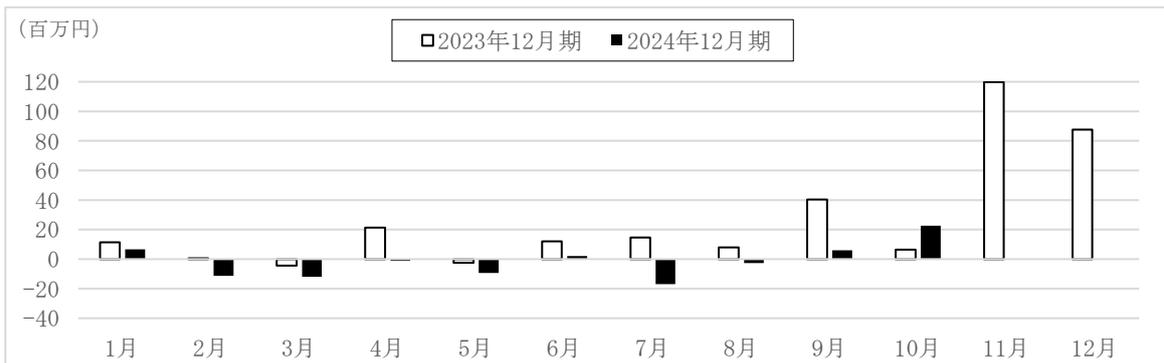


当月の連結経常利益は、27百万円（前年同月比108%）となりました。メンテナンス及び設計サービスがいずれも減益となったものの、再エネサービスが増益に転換したことで、当月の連結経常利益は前年同月比で増益となりました。

【再エネサービス】

(単位：百万円)

	2024年12月期 (2024年1月1日～2024年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	6	-11	-11	-1	-9	2	-16	-2	5	22			-15
前年同月比	59%	-	-	-	-	17%	-	-	15%	347%			-

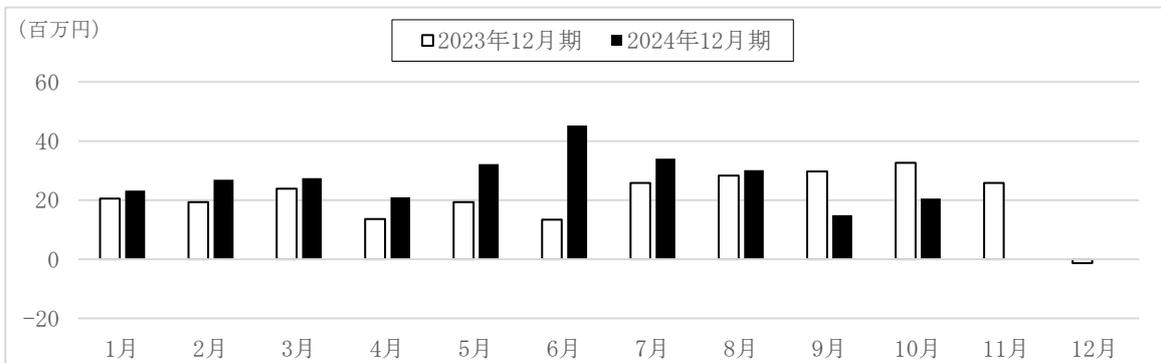


当月の再エネサービス経常利益は、22百万円（前年同月比347%）となりました。当月の増益に関する主たる要因は、中国市場における LESSO 社との合弁会社に関する持分法投資損益が増益したことによるものです。中国市場における LESSO 社との合弁会社は、前期と同様、当第4四半期（10月～12月）に LESSO 社向け業務に係る売上が一括計上される予定であり、その一部が10月度に売上計上された結果、10月度の当該持分法投資損益は前年同期比で増益となりました。なお、当該持分法投資損益は、通期では赤字が解消され、概ね計画どおり着地する見通しです。また、TEPCO ホームテックに関する詳細については、P.4の記載内容をご参照下さい。

【メンテナンスサービス】

(単位：百万円)

	2024年12月期 (2024年1月1日～2024年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	23	26	27	20	32	45	34	30	14	20			275
前年同月比	113%	139%	115%	154%	166%	337%	132%	107%	50%	63%			122%

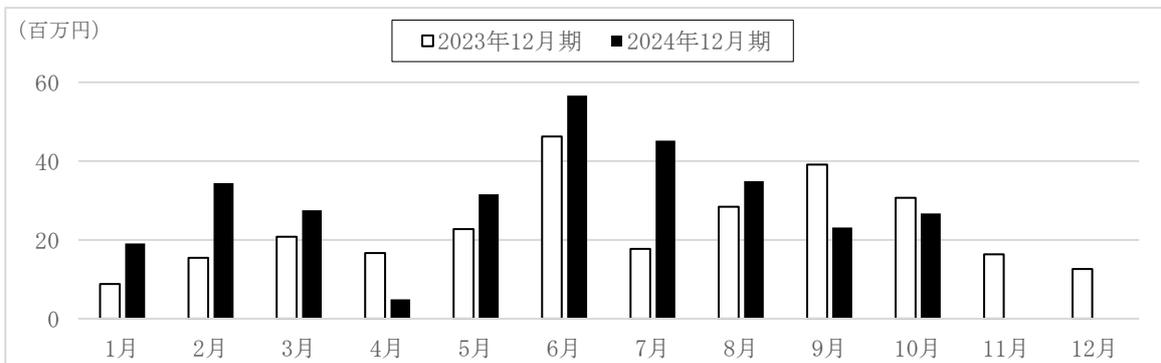


当月のメンテナンスサービス経常利益は、20百万円（前年同月比63%）となりました。減益の主たる要因は、従前より受託していた新電力小売事業者向けBPO業務の終了に伴う売上減少によるものです。当該影響により一時的に減益となりますが、住宅会社向け及びエネルギー企業向けメンテナンス業務の受注環境は引き続き堅調であることから、受託拡大による利益回復に努めてまいります。

【設計サービス】

(単位：百万円)

	2024年12月期 (2024年1月1日～2024年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	19	34	27	4	31	56	45	34	23	26			304
前年同月比	217%	223%	133%	30%	139%	123%	254%	123%	59%	87%			123%



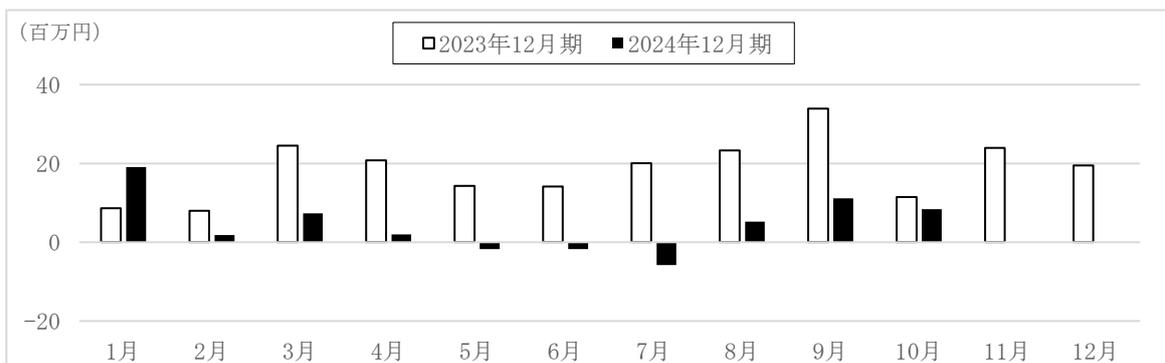
当月の設計サービス経常利益は、26百万円（前年同月比87%）となりました。減益の主たる要因は、既存の設備設計売上が前年同月比で減少したことによるものです。なお、今後は、再生可能エネルギー関連の設計業務における受託増加及びBIM導入コンサルティング業務の得意先拡大による受託増加により、利益回復を図る方針です。

■ (参考情報) 主な関連会社の業績推移

【TEPCO ホームテック】(東京電力エナジーパートナー株式会社との合弁会社)

(持分法投資損益、単位：百万円)

	2024年12月期 (2024年1月1日～2024年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
持分法損益	19	1	7	1	-1	-1	-5	5	11	8			45
前年同月比	222%	22%	30%	9%	-	-	-	22%	33%	73%			25%



当月のTEPCOホームテックに関する経常利益(持分法投資損益)は、8百万円(前年同月比73%)となりました。

当月のTEPCOホームテック売上高は820百万円(前年同月比136%)である中、さらなる受託拡大を見据えた経営基盤整備のための投資を実施していることで減益となりました。

減益の主たる要因としては、2025年度に予定されている東京都の新条例(新築住宅における太陽光パネル設置義務化)に伴う設置工事受託のさらなる拡大を見据えて、営業・施工管理人員の増強、施工品質向上に向けた様々な取り組み(施工研修施設の開設、業務フロー・マニュアルの整備等)を行っていることによるものです。

なお、経営基盤整備のための投資として一時的に発生していた費用は減少傾向にあり、8月度から持分法投資損益は黒字転換し、損益改善傾向にあります。今後は、本投資の効果を発現すべく、さらなる売上及び利益の拡大を目指してまいります。

以上